

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施

**夏休みに使う金額はV字回復！4年ぶりに増加し、コロナ禍前の金額を超える結果に！
今年の夏休みは、「国内旅行」や「帰省」など、外出する人が大幅に増加！
ボーナスアップの影響か！？夫へのお小遣いは昨年から約3万円アップ！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、夏休みを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

1. 夏休みに使う金額

…（P5）

**■夏休みに使う金額はV字回復！4年ぶりに増加し、コロナ禍前の金額を超える結果に！
夏休みに使う金額を増やすと回答した人は昨年の約7倍！理由は「旅行に行くため」！**

- ・今年の夏休みに使う金額の全体の平均額は「68,632円」と、昨年から約1.3倍に！
コロナ禍前（2019年）の「68,071円」を超える結果に！
- ・夏休みに使う金額を昨年より増やすと回答した人は24.9%と、昨年（3.8%）
の約7倍！増やす理由について聞いたところ、約半分（49.1%）の人が「旅行に
行くため」と回答
- ・一方で、減らすと回答した人（14.4%）に理由を聞いたところ、約6割（60.2%）
の人が「物価高騰により家計が厳しくなったため」と回答！物価高騰が夏休みの
予算を直撃！？

明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一が
夏休みに使う金額について分析！

2. 夏のボーナス

…（P8）

■夏のボーナスは平均で3.1万円アップ！

**夏のボーナスの使い道について「旅行」と回答した人は昨年の2倍以上！
ボーナスアップの影響か！？夫へのお小遣いは昨年から約3万円アップ！**

- ・各世帯における夏のボーナスの平均額は「600,654円」と、昨年「569,591円」
より「31,063円」アップ！
- ・夏のボーナスの使い道で「旅行」と回答した人は約4割（39.9%）と、昨年
（17.7%）の2倍以上！
- ・また、夏のボーナスのうち、夫へのお小遣いの平均額は「90,055円」と、昨年
「60,223円」から約3万円アップ！世のお父さんにとって嬉しい結果に！

明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一が
夏のボーナスについて分析！

3. 夏休みの過ごし方

(1) 夏休みの外出

… (P 10)

■今夏に外出する人は去年の1.4倍！増加理由はコロナによる外出規制の緩和！

外出する人の過ごし方1位は「国内旅行」！

一方で、猛暑により外出しない人も！？

- ・今年の夏休みに「外出する」と回答した人は57.5%と、昨年(41.2%)の約1.4倍！特に「既婚こどもあり」の人は約3人に2人(66.0%)が「外出する」と回答！今年こそ、子どもに夏休みの思い出を作ってあげたいという親の気持ちの表れなのではないでしょうか！？
- ・昨年の夏休みに外出しなかったが、今年の夏休みは「外出する」と回答した人に理由を聞くと、約8割(79.2%)が「新型コロナウイルスによる外出規制が緩和されたため」と回答
- ・「外出する」と回答した人に夏休みの過ごし方を聞くと、トップは「国内旅行」(57.1%)、2位は「帰省」(41.2%)、3位は「アウトドア」(36.0%)という結果に！
- ・一方で、今年の夏休みに「外出しない」(42.5%)と回答した人に理由を聞くと、トップは「暑いので外出したくないため」(41.0%)となり、特に女性は約半分(48.8%)の人がそのように回答。猛暑が外出を阻む要因に！？

(2) 夏休みの帰省

… (P 12)

■今夏に帰省する人は去年の約2倍！帰省先が遠い人ほど帰省する傾向に！

- ・今夏の帰省予定を聞いたところ、帰省すると回答した人は34.7%と、昨年(18.6%)の約2倍！
- ・帰省先別で見ると、「帰省先が近場(同じ都道府県)」の人は30.2%と昨年(23.1%)の約1.3倍であるのに対し、「帰省先が遠方(同一都道府県以外)」の人は39.6%と昨年(14.1%)の約3倍！
- ・昨年はコロナ禍による外出自粛等の影響で遠方へ帰省しにくかったため、今夏は遠方への帰省予定者が増える傾向に！？

4. 今年の夏休みを表す漢字一文字

… (P 13)

■今年は楽しく遊ぶ夏！「楽」「遊」が大きくジャンプアップ！

- ・「家」(27.3%)が2年連続トップとなるも、昨年(35.9%)から8.6pt減少！
- ・一方で、「楽(楽しい・行楽)」(20.1%)は昨年(5.8%)の9位から3位に、「遊(遊ぶ)」(15.1%)は昨年(5.5%)の10位から5位に大きくジャンプアップ！
- ・今年の夏休みは、外出して「楽」しく「遊」ぶ人が増える傾向に！？

対象者の属性

1. 調査対象

20代から50代までの男女 1,120人

(注)「4. 今年の夏休みを表す漢字一文字」は、20代から70代までの男女1,680人のデータを使用

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2022年6月20日(月)～6月24日(金)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 回答者の内訳

(単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	140	140	140	140	140	140	840
女性	140	140	140	140	140	140	840
計	280	280	280	280	280	280	1,680

【 目 次 】

1. 夏休みに使う金額	5 ページ
2. 夏のボーナス	8 ページ
3. 夏休みの過ごし方		
(1) 夏休みの外出	10 ページ
(2) 夏休みの帰省	12 ページ
4. 今年の夏休みを表す漢字一文字	13 ページ

1. 夏休みに使う金額

**夏休みに使う金額はV字回復！4年ぶりに増加し、コロナ禍前の金額を超える結果に！
夏休みに使う金額を増やすと回答した人は去年の約7倍！
理由は「旅行に行くため」！**

- 今年の夏休みに使う金額について質問したところ、全体の平均額は「68,632円」と去年の約1.3倍となりました。これは4年ぶりの増加で、コロナ禍前（2019年）の「68,071円」を超える結果となりました。コロナ禍による外出自粛で、減り続けていた夏休みの予算がV字回復したことが見てとれます。ただし、金額が8万円前後であった2018年以前には追いついていない状況になっています。
- 夏休みに使う金額の昨年度からの変化について質問したところ、「増やす予定」と回答した人は全体の約4人に1人（24.9%）となり、昨年（3.8%）の約7倍となりました。また、「減らす予定」と回答した人は14.4%となり、昨年（38.7%）の半分以下となりました。
- 「増やす予定」と回答した人にその理由を聞いたところ、「旅行に行くため」と回答した人が約半分（49.1%）となりました。
- また、「減らす予定」と回答した人にその理由を聞いたところ、「物価高騰により家計が厳しくなったため」と回答した人が約6割（60.2%）となりました。
- 新型コロナウイルスによる外出自粛が緩和され、夏休みに使う金額を増やして旅行に行く人が大きく増えている一方、一部の人は物価高騰の影響で家計が厳しくなり、使う金額を減らそうとしていることがうかがえます。

～フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一

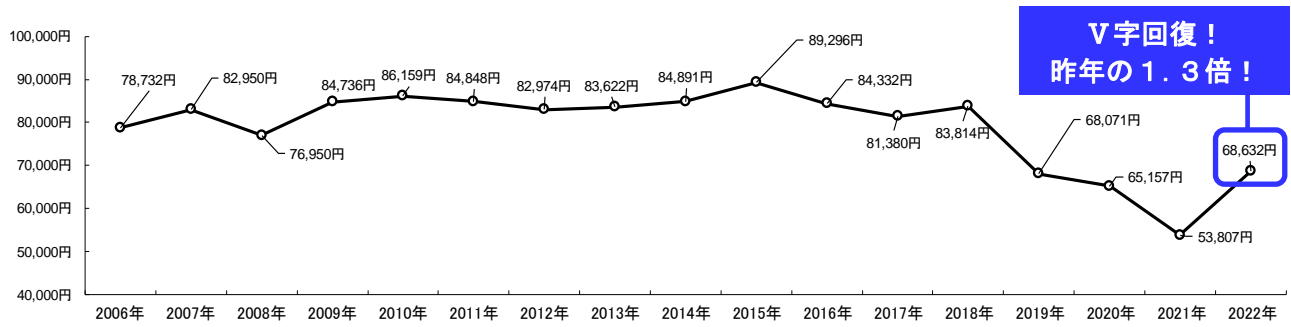


夏休みに使う金額がV字回復という明るいニュースです。「増やす予定」と回答した人が去年のなんと7倍！うち約半分が「旅行に行くため」と回答しています。コロナ禍で鬱積していた旅行需要が一気に吹き出した形です。旅行に行きたくてうずうずしている様子が目に浮かびます。

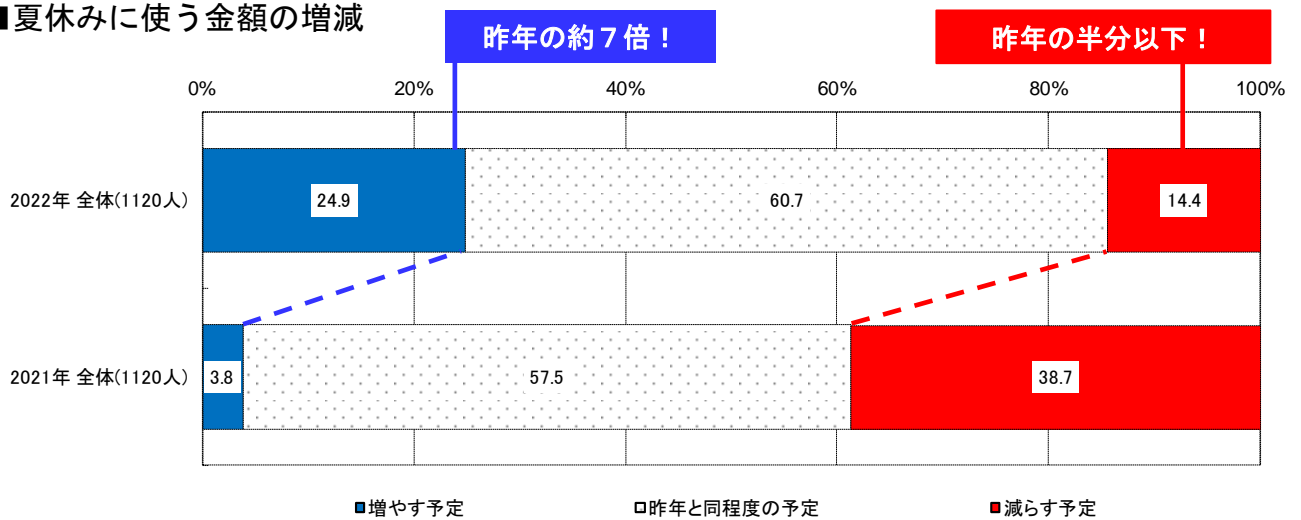
もっとも、使う金額がコロナ禍前を超えたといっても、ピークだった2015年の水準からは20,664円も低くなっています。また、「減らす予定」と回答した人の6割が物価高騰を理由に挙げています。これは、個人消費の先行きが決して明るくないことを示しています。

エネルギー価格や食品価格を中心とした物価上昇トレンドは、簡単には変わらない可能性が濃厚です。また、足元では新たな変異株が急速に広がっており、予定されていた「県民割」の全国展開（全国旅行支援）も延期されてしまいました。夏休み期間中の、旅行需要の盛り上がりが見えなくなるおそれも出てきています。

■夏休みに使う金額の推移

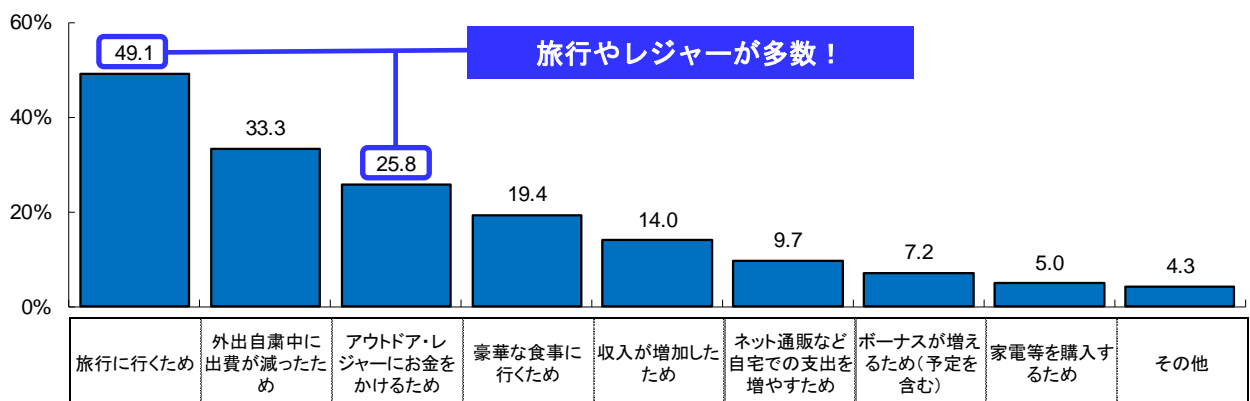


■夏休みに使う金額の増減



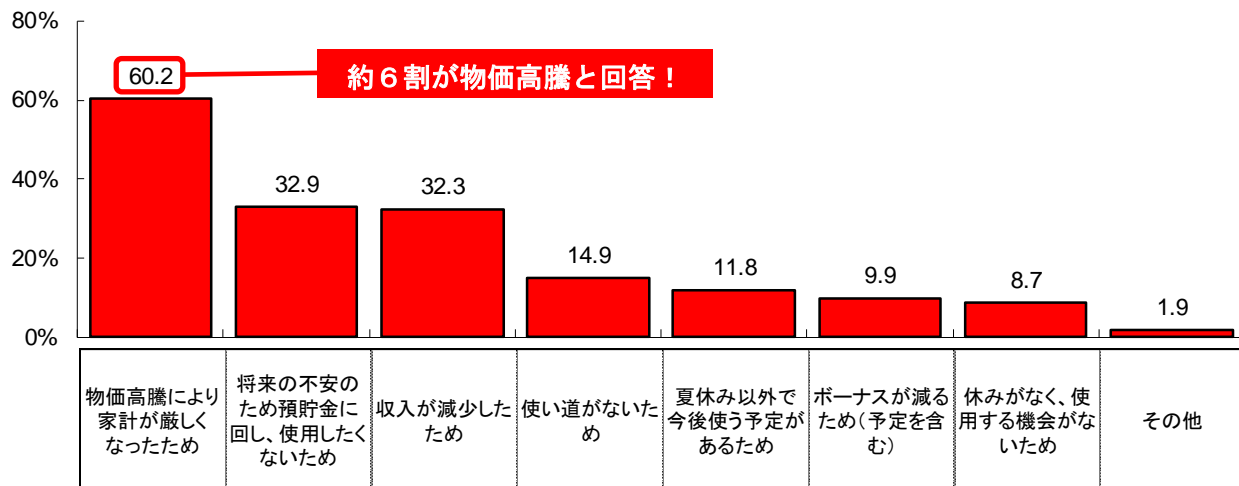
■夏休みに使う金額を「増やす」理由（複数回答）

（回答対象：夏休みに使う金額を増やす予定の人）



■夏休みに使う金額を「減らす」理由（複数回答）

（回答対象：夏休みに使う金額を減らす予定の人）



2. 夏のボーナス

**夏のボーナスは平均で3.1万円アップ！
夏のボーナスの使い道について「旅行」と回答した人は昨年より2倍以上！
ボーナスアップの影響か！？夫へのお小遣いは昨年より約3万円アップ！**

- 今年の夏のボーナスについて質問したところ、各世帯における夏のボーナスの平均額は「600,654円」となり、昨年の「569,591円」より「31,063円」上回りました。
- 夏のボーナスの使い道については、「預貯金」と回答した人が昨年と同様、約7割（70.1%）を占めるなか、「旅行」と回答した人は39.9%となり、昨年（17.7%）の2倍以上（2.3倍）となりました。ボーナスアップや3年ぶりに行動制限がなくなったこともあり、旅行を予定する人が増えている現状がうかがえます。
- また、夏のボーナスのうち、お父さんへのお小遣いに使う金額について質問したところ、平均額は「90,055円」となり、昨年「60,223円」から約3万円（29,832円）増加しました。世帯のボーナスもアップし、お小遣いもアップするという、お父さんにとって嬉しい結果が見てとれます。

～フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一



世の中のお父さんに朗報です。夏のボーナスから出るお父さんのお小遣いが、昨年の1.5倍！約3万円も増えるとの結果になりました。

ボーナスそのものも、約5%ではありますが増えました。昨年度の企業業績が、コロナ禍の落ち込みから急回復したことが背景にあります。預貯金に回る割合が約7割と大きいですが、これは例年の傾向です。ボーナスについては、今回上がっても、次回は再び下がるかもしれないと考える人が多いからです。こうしたなかでも、旅行に使うとした人が39.9%と、昨年の2.3倍に増えているのは目を引きます。ここでも旅行需要の回復が示されています。

経団連が6月21日に発表した調査では、大企業の夏のボーナスは13.8%増え、現在の方法で集計を始めた1981年以降、最大の伸び幅となっています。物価高が心配ですが、お小遣いが増えたお父さん達にとっては、おいしいビールが飲める夏になりそうです。

■世帯の夏のボーナス額

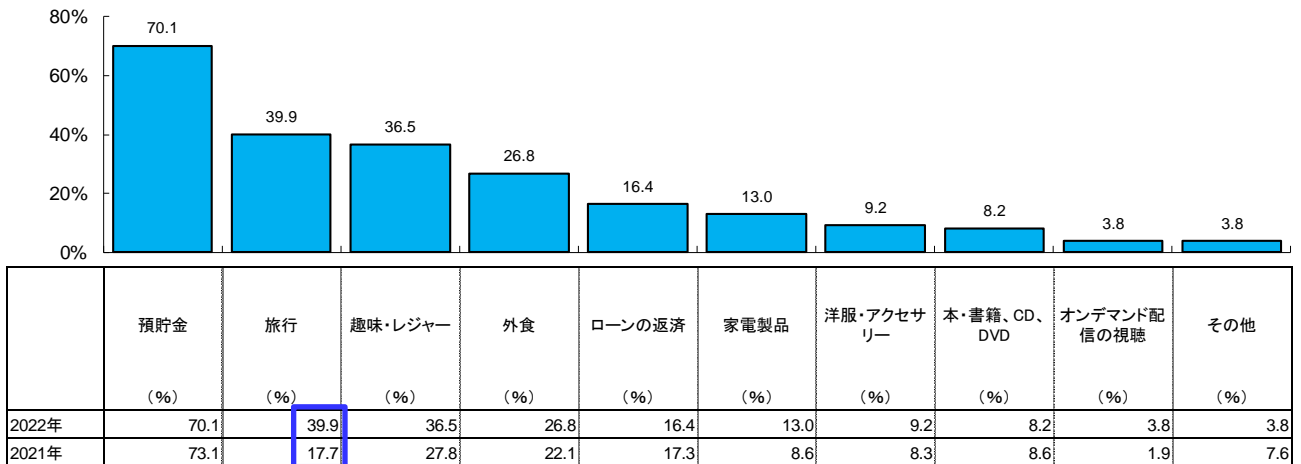
(回答対象：世帯で夏のボーナスがある人)

	回答者数 (人)	平均 (円)
2022年	682	600,654
2021年	648	569,591

昨年から31,063円アップ!

■夏のボーナスの使い道(複数回答)

(回答対象：世帯で夏のボーナスがある人)



昨年の2.3倍!

■夏のボーナスから夫にお小遣いをあげる金額

(回答対象：世帯で夏のボーナスがある既婚女性のうち夫にお小遣いをあげる人)

	回答者数 (人)	平均 (円)
2022年	146	90,055
2021年	139	60,223

昨年から29,832円アップ!

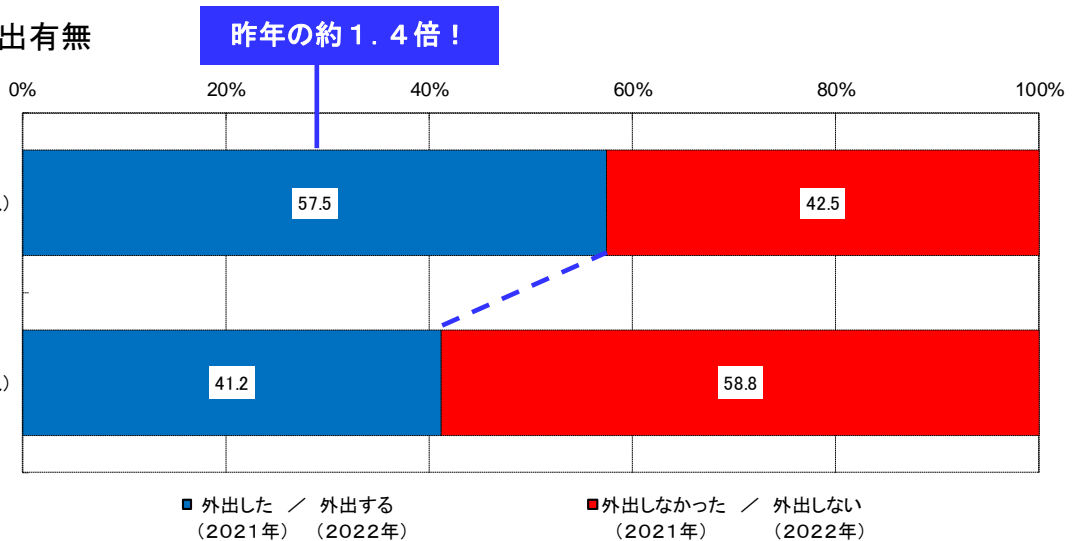
3. 夏休みの過ごし方

(1) 夏休みの外出

**外出する人は去年の1.4倍！増加理由はコロナによる外出規制の緩和！
外出する人の過ごし方1位は「国内旅行」！
一方で、猛暑により外出しない人も！？**

- 今年の夏休みの外出について質問したところ、「外出する」と回答した人は57.5%となり、昨年実際に「外出した」人（41.2%）の約1.4倍という結果となりました。また、世帯別で「外出する」と回答した人の割合を見ると、「未婚」（49.0%）や「既婚子どもなし」（50.9%）の人が約半数であるのに対し、「既婚子どもあり」の人は約3人に2人（66.0%）となりました。今年こそは、子どもに夏休みの思い出を作ってあげたいという親の気持ちがうかがえます。
- 次に、昨年の夏休みに「外出しなかった」が、今年の夏休みは「外出する」と回答した人にその理由を聞いてみたところ、約8割（79.2%）の人が「新型コロナウイルスによる外出規制が緩和されたため」と回答しました。
- また、「外出する」と回答した人に夏休みの過ごし方を聞いてみたところ、トップは「国内旅行」（57.1%）、2位は「帰省」（41.2%）、3位は「アウトドア」（36.0%）となりました。今年の夏休みに外出する人の半分以上が「国内旅行」に行く予定のようです。
- 一方で、今年の夏休みに「外出しない」と回答した人に理由を聞いてみたところ、トップは「暑いので外出したくないため」（41.0%）となり、特に女性は約半分（48.8%）の人がそのように回答しました。コロナによる外出規制が緩和されても、猛暑で外出したくないと考えている人が多く、特に女性にその傾向が強く表れています。

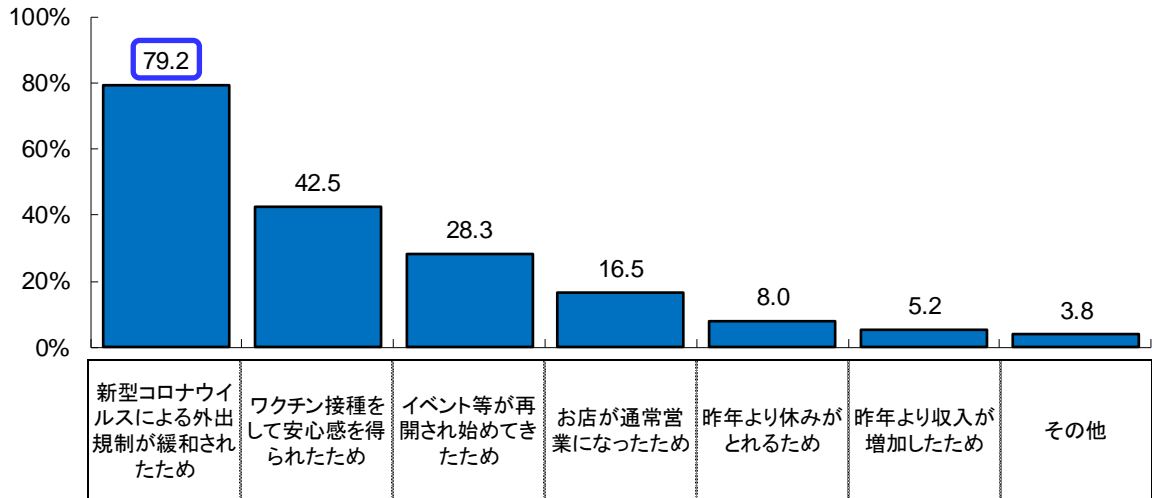
■夏休みの外出有無



	回答者数 (人)	外出した / 外出する (2021年) (%)	外出しなかった / 外出しない (2022年) (%)
2022年	1120	57.5	42.5
うち未婚	410	49.0	51.0
うち既婚子供なし	169	50.9	49.1
うち既婚子供あり計	541	66.0	34.0
2021年	1120	41.2	58.8

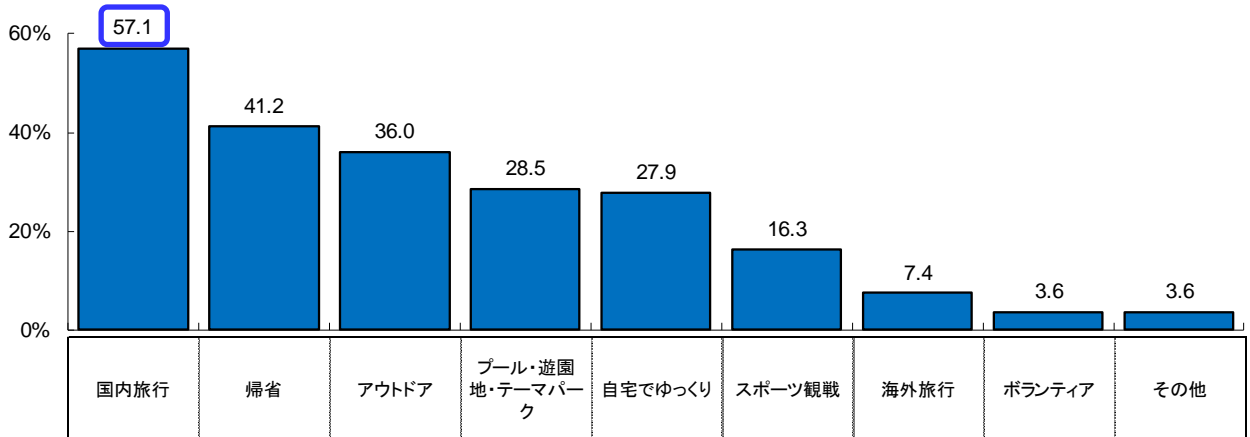
■今年の夏休みに外出する理由（複数回答）

（回答対象：昨年の夏休みに外出しなかったが、今年の夏休みは外出する人）



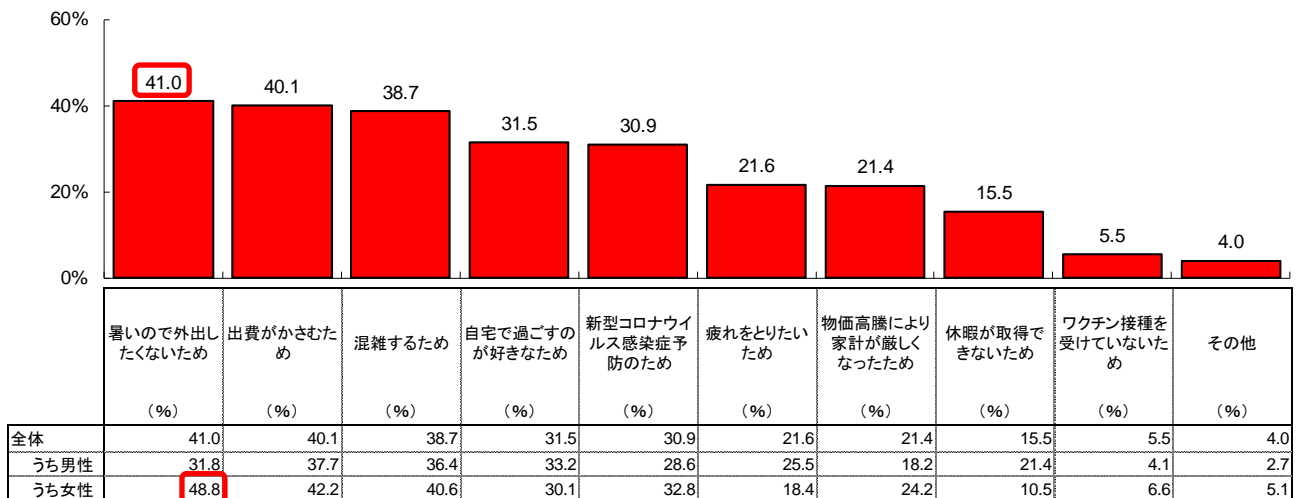
■夏休みの過ごし方（複数回答）

（回答対象：今年の夏休みに外出する人）



■今年の夏休みに外出しない理由（複数回答）

（回答対象：今年の夏休みに外出しない人）



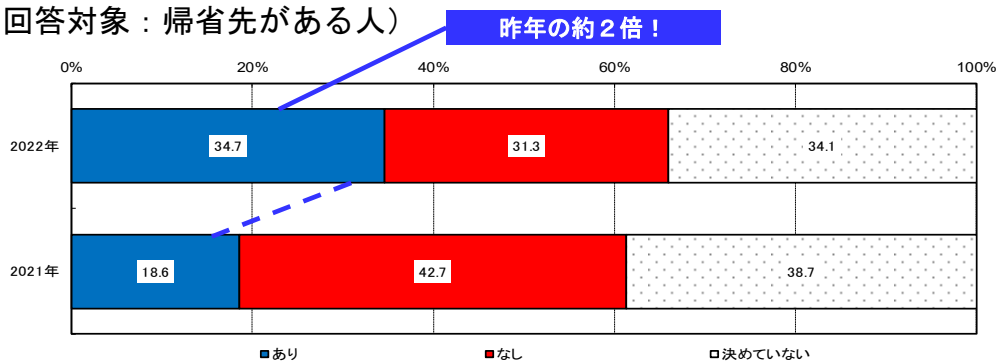
(2) 夏休みの帰省

今夏に帰省する人は昨年の約2倍！帰省先が遠い人ほど帰省する傾向に！

- 今夏の帰省有無について質問したところ、「帰省予定がある」人は34.7%となり、昨年（18.6%）の約2倍となりました。
- また、「帰省予定がある」人の割合を帰省先別で見ると、「帰省先が近場（同じ都道府県）」の人は30.2%と昨年（23.1%）の約1.3倍であるのに対し、「帰省先が遠方（同一都道府県以外）」の人は39.6%と昨年（14.1%）の約3倍となり、帰省先が遠方の人ほど帰省する傾向であることがわかりました。
- 帰省先が遠方の方は、コロナ禍による外出自粛等の影響により帰省がしにくかったため、今夏は帰省しようと考えている人が多いようです。

■今夏の帰省予定有無

（回答対象：帰省先がある人）

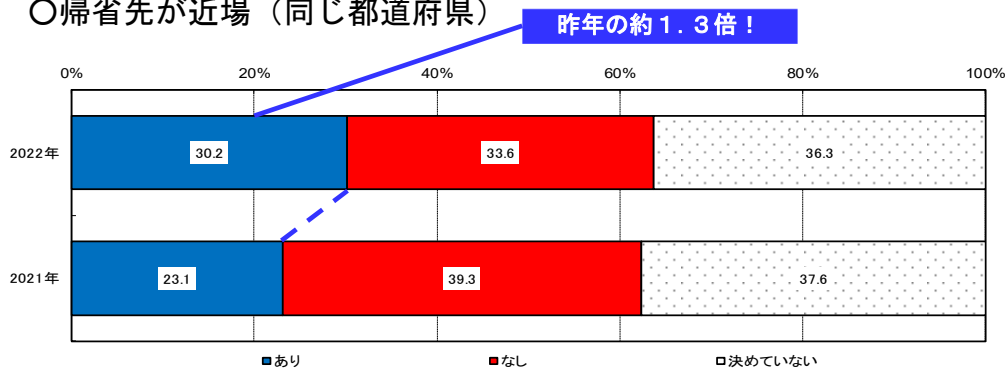


（注）回答者自身の帰省先がない場合は離れて暮らす子ども等の帰省予定を回答

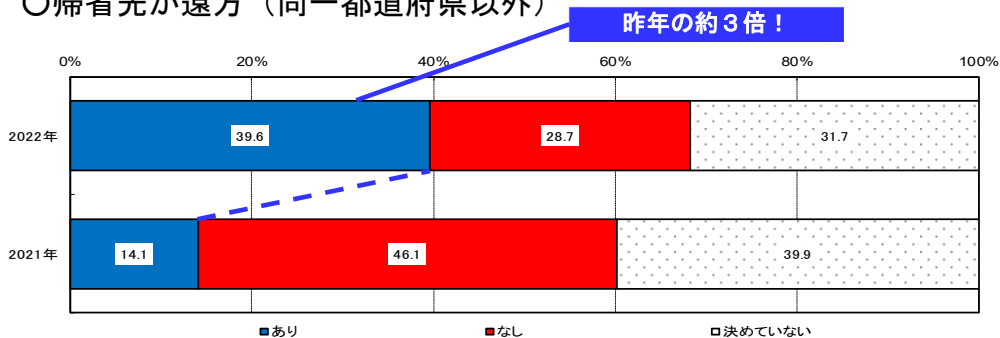
■帰省先別の帰省予定有無

（回答対象：今夏に帰省予定がある人）

○帰省先が近場（同じ都道府県）



○帰省先が遠方（同一都道府県以外）

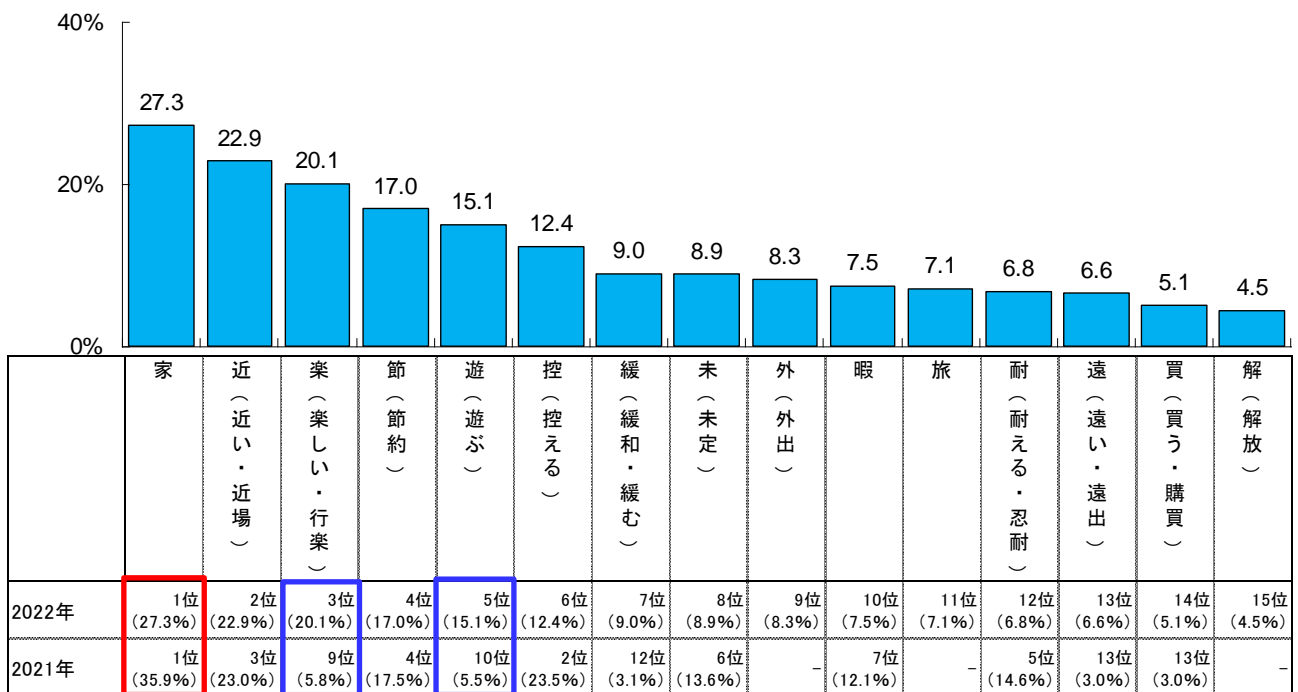


4. 今年の夏休みを表す漢字一文字

今年は楽しく遊ぶ夏！「楽」「遊」が大きくジャンプアップ！

- 今年の夏休みを表す漢字一文字について質問したところ、「家」（27.3%）が2年連続でトップとなりましたが、昨年（35.9%）から8.6pt減少となりました。
- 一方で、「楽（楽しい・行楽）」（20.1%）は昨年（5.8%）の9位から3位に、「遊（遊ぶ）」（15.1%）は昨年（5.5%）の10位から5位に大きくジャンプアップとなりました。
- 今年の夏休みは、外出して「楽」しく「遊」ぶ人が増える傾向にあるのかもしれませんが。

■今年の夏休みを表す漢字一文字（3つまで回答）



8.6pt減少！

9位から3位に！

10位から5位に！

以上